

石川県

定 数： 3 名

立候補者数： 5 名



氏名 野口 雅弘
氏名ふりがな のぐち まさひろ
都道府県士会 石川県
年齢 48
勤務先名称 北陸大学

日本理学療法協会活動歴

令和6年6月～ 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成21年～令和5年 石川県理学療法士会事務局ニュース編集部部員
平成23年～平成29年 石川県理学療法士会事務局ニュース編集部部長
平成29年～令和5年 石川県理学療法士会理事（事務局担当）
令和元年 石川県理学療法士会創立五十周年記念誌編集委員長兼記念式典準備委員
令和5年9月 第39回東海北陸理学療法学会兼第32回石川県理学療法学会大会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

令和3年8月～ 日本地域理学療法学会 評議員
令和7年6月～ 日本糖尿病理学療法学会 評議員

立候補の趣旨

平成21年から平成29年の間に、部長、理事として、県士会の広報部門（メディアネットワーク）に継続して関わってまいりました。その間、石川県理学療法士会五十周年記念式典準備委員および記念誌編集委員長を務め、これまでの県士会活動を総括する役割を担いました。また、令和5年には第39回東海北陸理学療法学会大会の大会長を務め、理学療法士による公衆衛生活動を通じた職域拡大の必要性と、それを支えるジェネラリスト育成のための卒後教育の重要性について発信してまいりました。

前回の選挙でも訴えたとおり、少子化の進行や社会保障費削減といった我が国の社会情勢の中において、理学療法士の職域拡大と質の担保は喫緊の課題です。この2年間、協会においても公衆衛生活動の推進や、質の担保を目的とした卒前・卒後教育制度の改革など、多岐にわたる取り組みが進められてきましたが、なお改善すべき点は少なくありません。今後も引き続き、協会の活動を代議員の立場から適切に監視し、必要な提言を行うことで、より良い協会運営と理学療法士の発展に寄与していきたいと考えております。皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名 北谷 正浩

氏名ふりがな きたたに まさひろ

都道府県士会 石川県

年齢 65

勤務先名称

日本理学療法協会活動歴

平成7年6月～平成9年5月 理学療法士・作業療法士地域保健・福祉講習会運営委員
平成10年4月～平成14年3月 保健福祉局東海北陸ブロック部長
平成26年6月～平成30年5月／令和4年6月～令和6年5月 代議員
令和4年～現在 地域包括ケアシステム推進部会 部会長

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成3年6月～平成7年5月 福祉部部員
平成7年6月～平成25年5月 理事
平成25年6月～令和3年5月 副会長
令和3年6月～現在 会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は平成3年から県士会活動に、平成7年からは日本協会活動に携わり、長きにわたり多くの会員の皆様と共に歩んでまいりました。この度、石川県の現場の声を日本協会へ届け、職能の発展に尽力すべく、代議員選挙に立候補いたしました。

現在、私は日本協会において「介護予防領域業務推進部会」の委員長を務めております。これまでの経験を活かし、会員の皆様が地域で活躍できる基盤づくりをさらに加速させます。特に重要視しているのが「推進リーダー制度」の実効性向上です。資格を取得することがゴールではなく、その専門性が正当に評価され、実際の地域活動やキャリアアップにより直結するような仕組みへのブラッシュアップを目指します。

また、昨今の情勢において避けて通れないのが「災害リハビリテーション」体制の強化です。発災直後の支援から生活再建に至るまで、理学療法士が切れ目なく、かつ安全に支援を行えるよう、日本協会レベルでの連携網をより強固なものにし、安心して暮らせる地域づくりに貢献したいと考えます。

これからの理学療法士の未来を創るのは、若手・中堅の皆様です。皆様が将来に希望を持ち、誇りを持って働ける環境を整えることこそが、私の最大の責務だと考えています。

皆様一人ひとりの声を大切にする「顔の見える代議員」として、全力を尽くします。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



氏名 丸居 夕利佳
 氏名ふりがな まるい ゆりか
 都道府県士会 石川県
 年齢 40
 勤務先名称 金沢西病院

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成25年～平成28年	公社）石川県理学療法士会	業務推進部部員
平成29年～平成31年	公社）石川県理学療法士会	業務推進部部長
令和元年～令和2年	公社）石川県理学療法士会	職能局 理事
令和3年～令和4年	公社）石川県理学療法士会	副会長
令和5年～令和6年	公社）石川県理学療法士会	事務局 理事
令和7年～	公社）石川県理学療法士会	社会事業局 理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

立候補した理由は、代議員の役割である「会員と協会をつなぐ機能」を、より実質的なものにしていきたいと考えたためです。
 代議員は、総会において協会の重要事項を審議・決定する責務を担うと同時に、会員の意見や現場の課題を協会に届ける存在です。しかしながら、代議員同士の情報共有や連携の機会はずしも十分とは言えず、総会での議論の背景や代議員の役割が会員に伝わりにくい現状もあると感じています。
 私は代議員間のネットワーク構築を重視し、分野や地域を越えた意見交換や情報共有を進めることで、総会における議論の質を高めていきたいと考えています。また、総会での審議内容や協会の方針についても、会員の皆様に分かりやすく伝える仕組みづくりに取り組み、協会活動への理解と参画意識の向上に貢献したいと考えています。
 代議員が個々に役割を果たすだけでなく、ネットワークとして機能することで、現場の声をより的確に協会へ反映させることが可能になると考えます。会員と協会を双方向につなぐ代議員として、誠実に責務を果たしてまいります。ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名 狩山 信生
氏名ふりがな かりやまのぶお
都道府県士会 石川県
年齢 49
勤務先名称 専門学校金沢リハビリテーション
アカデミー

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2021～ 石川県理学療法士会学術局理事
2023～ 石川県理学療法士会副会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

理学療法士がこれまで築いてきた専門職としての基盤を大切にしながら、その価値を伝えていける力を備えることは社会から信頼される専門職であり続けるために不可欠です。教育現場に関わる者として、養成から生涯学習まで一貫した視点で、協会の活動がより実効性のあるものにしていく必要性を感じています。協会と会員が双方向につながり、現場の声をもとに未来を描いていけるよう、その一端を担いたいと考え、代議員選挙に立候補いたしました。



氏名 諏訪 勝志
氏名ふりがな すわ かつし
都道府県士会 石川県
年齢 59
勤務先名称 恵寿金沢病院

日本理学療法協会活動歴

2021年～2022年 日本理学療法士協会代議員
2025年度～ 日本理学療法士協会懲戒委員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2013年5月～ 石川県理学療法士会理事
2017年5月～ 石川県理学療法士会職能局長
2019年5月～ 石川県理学療法士会副会長
2025年6月～ 石川県理学療法士会事務局長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

長年の県士会活動と副会長、事務局長などの経験から、日本理学療法士協会の活動にも協力し、士会の要望を協会へ届けることができます。
若い世代が、協会や士会活動に興味を持ち、ともに活動できる人材の育成を図っていきたいと思います。
また、理学療法士の地位向上に向けて、協会や連盟と協力して活動していくことも重要であり、士会員の声を届ける役割を果たしたいと思います。
震災の経験から、地域活動にも力を入れ活動を行っていきたいと思っています。
これらを達成するためにも代議員として多くの活動を実践していきたいと思い立候補しました。